

ふれあい情報 速報

■発行 日本高齢・退職者団体連合(退職者連合)
■発行人 羽山 治美 (編集人) 林 道寛
■連絡先 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 3-2-11
Tel: 03-5295-0507 Fax: 03-5295-0541
<e-mail>tais yokusharengo@sv.rengo-net.or.jp
<ホームページ> <http://tr.jtuc-rengo.jp>

2014年 8月7日(木) 第186号

(速報の記事・写真の転載は自由。データが必要な場合は送付可)

「2014年度社会保障制度等に関する要求」等

厚労省へ要請。各項目で意見交換

8月6日午後2時から各局実務担当官クラスと

退職者連合は、7月15日開催の第18回定期総会で決定した「2014年度社会保障制度等に関する要求」、「低所得高齢単身女性問題にかかる政策・制度要求」について8月6日、厚生労働省に要請するとともに出席した同省の各局・課の実務担当官クラス30名と退職者連合の要求内容の各項目にわたって意見交換しました。申し入れ内容については、7月24日午前、厚労省の宮野甚一総括審議官に要請済

み。午後2時から1時間行われたこの意見交換には、退職者連合の羽山治美事務局長、菅井義夫事務局次長、年金専門委員長の太田敏夫常任幹事、医療・福祉専門委員長の川端邦彦常任幹事、男女平等参画委員会副委員長の熊崎清子幹事、同委員の野田那智子幹事、また連合本部からも倉永誠史組織拡大・組織対策局長の7名が参加しました。



5局から担当官30名が出席

会場となった厚労省1階にある共用4,5会議室が、退職者連合要請団や各局担当官であふれる中(写真)、初めに羽山事務局長が、田村憲久厚生労働大臣宛の要請書を政策統括官付労使関係担当参事官室の吉村亮第一係長に手渡しました。

続いて吉村係長が進行役となり「年金局」の事業企画課・総務課・年金課、「保険局」の医療課・保険課・医療費適正化対策室・高齢者医療課・国民健康保険課、「老健局」の総務課・介護保険計画課・老人健康課・高齢支援課・振興課、「社会・援護局」の保護課、「医政局」の指導課在宅医療推進室のそれぞれの担当官から要求に対する回

答がありました。

ただ厚労省側の回答だけで予定の1時間をオーバーし、十分な意見交換とはなりませんでした。退職者連合の羽山治美事務局長は、「いただいた回答内容について不明な点や分からないところは、吉村第一係長を通じて問い合わせするので、よろしく」と注文しました。

持ち越された低所得高齢単身女性問題での意見交換

今回の要請のポイントの一つに、低所得高齢単身女性問題にかかる政策・制度要求があり、退職者連合では、初めて男女平等参画委員会から副委員長熊崎清子幹事と同委員の野田那智子幹事が同席しました。厚労省側からも女性が6名出席しており、この課題についての忌憚ないやり取りが期待されましたが、時間の関係で意見交換できませんでした。今後、機会があれば退職者連合として厚労省の関係部局と積極的に意見交換の場を設定していくことになります。

なお、厚労省の回答内容は昨年と同様に「結論と動向」にまとめて報告します。



▲要請書を吉村係長に手渡す羽山事務局長
(8月6日午後2時、霞が関の厚労省で)

回答内容は、退職者連合「結論と動向」にまとめます。



▲退職者連合要請団の面々。左から川端常任幹事、太田常任幹事、羽山事務局長、菅井事務局次長、熊崎幹事、野田幹事。(8月6日午後2時、霞が関・厚労省1階共用4,5会議室で)